

第2回子育てカフェ Tips集

2018/12/3 開催



育休

育休後の働き方

- 育休をとるのは簡単、復帰が難しい
- 制度があってもちゃんと使えないと意味が無い
- 働くことを疎かにしない、管理職の方も理解を深めないといけない

育休の使い方

- むやみに長く育休を取る必要はない
(最大の育休が必ずしもいいとは限らない)
- キャリアが遅れる、給与面、相手とのパワーバランスも崩れてしまう
- 周りの人の手を借りることを恐れない

キャリア

- **中長期的**なプランで自分のキャリアを考えてみる
- 周りに追いつかれていかれるとかは気にしなくていい
- 他の人だって体調壊すかもしれないし介護が待っているかもしれない

子育てとキャリアの両立

- 親が働くからこそ子育てに活かせることがある
→社会にでていいるから常に最先端の情報を得ることができ提供できる

マミートラック

- 能力や経験とは無関係に子育てが原因で仕事を回してもらえなくなる働く母親が陥りやすいキャリア・コースのこと

対策

- 気付いたら**自分から行動する**、周りの人や上司に対して声をかける
- 本来、上司がうまく仕事を回すべきだが、上司も働き方に制限のある部下を扱うのは難しい。
- コミュニケーションを通して交渉を行うことが大切！

夫婦

- 夫婦間で本心をきちんと話し**お互いの考えをすり合わせる**
(どういう子に育ててほしいのか、自分自身のキャリア)
- 父親の育児も大切！母親にとっても嬉しいけど、子供にとっても多様性を付与することができる
- 夫婦共に「保育園からの呼び出し対応」リアルタイムで共有すると良い。負担を分散することができる
- 家事を最低限減らし（ゼロベースからスタートする）そのあとに分担する

まとめ

- 育休の使い方や意味をきちんと考えて利用する
- 自分が何を使えるのかを常に考える
(代行サービスやマッチングサービスなど)
- 自分から行動する、働くことを疎かにしない
- 夫婦間での対話を大切にする

おまけ ～講義に対するコメント～

- 山口先生のご講演が本当に有用で、勇気ができました。早速、話し合いシートを使って、夫と話し合ってみます。また、同僚や上司ともシェアしたいと思いました。
- 本イベントをしらない同僚もいたので、伝えておきました。よい内容だと思うので、もっと人が集まると良いですね。
- サマータイムやフレックスタイム制度が導入されることで、夫婦間での役割分担がさらに行いやすくなると思いました。（職員）